

## 日月会 プレ・フォロ 第 21 回 議事録

日時 2015.03.28(Sun.)	時間 14:00-16:30	場所 吉祥寺校 食堂	記録 鈴木竜太
出席者(敬称略)プレ・フォロメンバー、ゲスト、参加者含む (順不同) 岩下、木岡、吉村、布施、小倉、関、小池、酒向、小林、田宮、 (幹事) 更田、寺阪、鈴木、棚橋			
配布資料 1960～1990 年代までの社会史(岩下さん提供)			

議事録	備考
<p><b>1. 「第 4 回建築学科の歩みを語る」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレ・フォロ幹事更田より、本企画の概要について</li> <li>・ 過去 3 回の紹介、おさらいと今回の趣旨説明</li> <li>・ ゲストの簡単な経歴紹介</li> </ul>	

<p><b>2. 建築学科の歩みを語る (要約)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15 期から 20 期まで各年代のゲストスピーカーをお招きして、当時のムサビや学生、ご自身についてなど幅広く語って頂いた。ゲストとしてお招きした方は、岩下さん(15 期)、吉村さん(16 期)、布施さん(17 期)、小倉さん(18 期)、関さん(19 期)、小池さん(20 期)。一人ずつ順番にお話頂いた後、座談会形式で当時は振り返った。</li> <li>・ 岩下さん(15 期) 60～90 年代の社会史のプリントを配布。 坂本ゼミに在籍。 2 浪して入学。同学年には多数の浪人組。 学校で課題をやっている学生はほとんどいなかった。4 年のゼミ選択後は、ゼミ同士の交流も少なかった。 坂本ゼミでアンケートを行う。回答者が 1000 人を超える。 ムサビで始まり、東工大でも続く。 15 期は予備校単位で仲がよかった。</li> </ul>	
---	--

- ・ 吉村さん(16期)  
保坂ゼミに在籍。  
保坂事務所のバイトか早稲田の先輩の手伝いに行っていた。  
当時助手の袴田さんの影響で建築をやった。  
保坂事務所では、アルバイトを集める係。  
坂本先生の課題「特定郵便局」が一番記憶に残っている。  
16期は、仲が良かった。
  
- ・ 布施さん(17期)  
坂本ゼミに在籍。坂本先生の最後の年。  
1年生の時に「建築研究会」を創った。  
部員は10人くらいでスタート。建築見学、講演会、自主的に芸祭で作品を発表。  
1～2年は竹山ゼミ大学院の先輩にお世話になったので、竹山ゼミを考えていたが、最終的には坂本ゼミを選んだ。  
課題(40人)のエスキースには10名くらい。
  
- ・ 小倉さん(18期)  
竹山ゼミに在籍。坂本ゼミに入るつもりだったが、無くなったので入れなかった。  
保坂さんの美術資料図書館(現・美術館)増築後で美術館の抜けを知らない世代。  
課題+コンペ+建築研究会と忙しい日々。  
源先生がゼミを初めて持った年。  
源先生、ゼミ説明会で黒板に「構法」と書く。初年度2人くらい。  
課題に恵まれていた代。偏っていたとも思う。  
3年時、保坂先生の課題「宮殿の再構成」が面白かった。  
建築研究会で芸祭に発表した作品の図面や写真を持参。
  
- ・ 関さん(19期)  
源ゼミに在籍。

学年としてのまとまりは、私の廻りではあまりなかった印象。  
源先生の手伝いで、構法・継手等の絵を描いていた。とても勉強  
になった。

それが、後に本になる。「構造用教材」現物を持参。

手を動かし、手で作る所に興味があった。

学生は保坂・竹山ゼミが多い。

85年で織本先生が辞めて、それまで非常勤講師だった立花先生が  
専任として入る。

仙田さんのところやGK設計等でバイトをする。当時の学生はバ  
イトで色々経験していた。

GK設計が特集されている雑誌「デザインの現場01」持参。

・ 小池さん(20期)

源ゼミ在籍。

建築研究会やゼミで海やスキーにたくさん行った。当時の写真を  
持参。

個々で個性の強い学生が多かった。

源ゼミの同期は13~14人。

4年でゼミ室ができた。院生が中心でコンペを行った。初めて大  
学に泊まる。

3年後半から伊東事務所にバイトで行く。

建築研究会の先輩から送り込まれた。

事務所アルバイトはたくさんした。

GKは時給450円交通費なしだった。他に坂倉事務所や榎事務所。

課題作業は家でやっていた。

「建築研究会」の前後で学生は大きく変わったと思う(吉村さん)

「バナキュラーゼミ」で工場等の見学にも行った。

学校のカリキュラムと別の行動が多かった。

芸祭のパンフレットを4人でつくった。現物を持参。

・ 質疑・座談会

先生たちに憧れて入った世代の境界。

現役でやっている先生はムサビが一番と言われていた。(布施さん)

予備校がバックグラウンドで大きかった。(小倉さん)

経済について、就職は良くなかった。バブル始まる前。

猫も杓子も大学に行くという時代だった。(関さん)

AU でアンビルドの特集があったりして、ものの建たない時代だった。(岩下さん)

表現は雑誌に引っ張られた。(更田さん)

ムサビ女子がゼネコンに入るようになった。(吉村さん)

建設冬の時代だった。学生の半分以上決まっていなかった。(吉村さん)

女子 10 人くらい(16 期吉村さん)から 20 人くらい(20 期小池さん)  
この 5 年間を一括りにしてはいけなかったんだよ。(笑)(岩下さん)

前の 5 年間は明確に目指しているものがあつたが、この 5 年間でかなりバラけているような気がする。(更田さん)

「しらけ世代」とは当時から言われていた。(更田さん)

熱中対象が個人や小集団単位で、世代がまとまって同じ方向を向かなかつた世代。(岩下さん)

最近言われる「ゆとり世代」と同じような世代ラベル付けだった。  
上の世代はいつもそういうネガティブなことを言っている。(酒向さん)

当時の先生は、年も近かつたし若かつた。他の大学はロートルな先生が多かつたが、ムサビは現役の先生。(更田さん)

15 期入学当時の坂本先生は 34 歳くらい。(岩下さん)